

平成25年度「道路ふれあい月間」推進標語入選作品

◆最優秀賞（3作品）◆

【小学生の部】

「ゆずり合い せまい道路も 広くなる」

樋口 莉奈さん （山梨県 南アルプス市立八田小学校）

【中学生の部】

「踏みしめて 未来へつづく 道がある」

大山 藍さん （茨城県 小美玉市立玉里中学校）

【一般の部】

「おかえりと 道の向こうで 待つ笑顔」

中川 潔さん （福井県 福井市）

◎最優秀賞3作品のうち、3委員に好評だった「ゆずり合い せまい道路も 広くなる」を今年度の代表標語とします。

◆優秀賞（6作品）◆

【小学生の部】

『「おはよう」の 声がいっぱい 朝の道』

中谷 麗夢さん （大阪府 豊中市立野畑小学校）

「のびのびと ゆめに向かって 歩こうよ」

岩澤 真夏斗さん （秋田県 大館市立釈迦内小学校）

【中学生の部】

「この道を 歩けばいつも 笑顔あり」

加藤 広菜さん （神奈川県 山北町立三保中学校）

「新しい 人との出会い つなぐ道」

近藤 海太さん （静岡県 静岡市立城内中学校）

【一般の部】

『「ありがとう」 道路が救う 命ある』

星野 典比古さん （栃木県 小山市）

「いつだって 道といっしょに ある暮らし」

内河 裕信さん （神奈川県 相模原市）

【各委員からの総合選評】

《三好委員》



いろいろな角度（年齢・立場）から見たものが選ばれたと思います。

全作品を読むと、「元気で面白い」ものがいっぱい。選ばれたものは、同じ言葉を使っている流れが良く、より「伝わってくる」作品だったと思います。これからの日本の道は、明るくて希望がある！と思えてくるものが多かったと思います。こんな風な道であってほしいですネッ！！

最優秀作品は、改めてすごいと思っています！

一読で、きちんとメッセージの伝わってくる作品が多く寄せられたと思います。

小学生の部は、低学年はかわいらしく素直な内容。学年が上がるほど大人顔負けの言葉選びで完成させていました。

中学生の部になると、社会とのかかわりや人生と重ねて表現したものが増え、ジュニア世代の道への思いを感じることができました。

一般の部は、”しみじみ ほのぼの系”が最終選考に並びましたね。

《やすみ委員》



《吉岡委員》



小学校、中学校、一般と、それぞれの生活感に裏打ちされた、ナチュラルな感性が表れているように感じました。

大人も子供も道路に思いを寄せて、楽しみながら作ったのではないのでしょうか。作品からは様々な道路と人の姿が見えるようです。